



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL <http://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田邊 浩明 TEL 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	6,015	1.1	187	15.6	188	16.1	119	5.6
29年12月期第1四半期	5,950	6.8	162	23.9	161	24.5	113	42.8

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 118百万円 (4.4%) 29年12月期第1四半期 113百万円 (43.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	28.15	26.39
29年12月期第1四半期	26.85	25.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第1四半期	7,337	2,624	34.5	596.69
29年12月期	6,493	2,541	37.8	578.21

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 2,534百万円 29年12月期 2,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	8.50	—	9.50	18.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期 (予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	12,400	7.7	210	△5.2	210	△5.2	121	△19.2	28.51
通期	24,400	9.6	375	10.8	375	9.8	225	10.8	53.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社セキュリティア、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期 1 Q	4,313,000株	29年12月期	4,311,000株
② 期末自己株式数	30年12月期 1 Q	66,188株	29年12月期	66,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期 1 Q	4,246,145株	29年12月期 1 Q	4,215,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計会計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得情勢を背景に緩やかな回復基調で推移しております。一方、生産活動の回復が一服していることや、公共投資といった官需によるプラス寄与が減少するなど、先行きに不透明な要素もみられます。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、スマートフォンやタブレットの普及により国内パソコン出荷台数は減少傾向にあるものの個人向け市場に限定され、法人向けパソコン市場での出荷台数は、パソコンの買い替え需要が顕著化し、増加傾向で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、業容拡大、経営基盤の安定と強化のため新たな事業への取組みを実施してまいりました。また、強みである戦略的な商品調達を積極的に展開し、価格優位性を生かした在庫商品の販売に注力するなど、粗利の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,015,099千円（前年同四半期比1.1%増）、経常利益は188,060千円（前年同四半期比16.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は119,543千円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

各セグメント別の営業の概況は次のとおりであります。

① ITサービス事業

法人向けコンピュータ市場においては、Windows 7搭載パソコンの買い替え需要が顕著化し、パソコンの出荷台数は増加傾向で推移いたしました。当社グループにおけるパソコン販売台数については計画をやや下回る形で推移するなか、独自の在庫販売戦略等に注力するなど、粗利の確保に努めてまいりました。その結果、売上高は3,925,870千円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は171,310千円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を従来の「情報機器販売事業」から変更しております。

② アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引先の拡大が順調に推移し、売上高は2,080,679千円（前年同四半期比8.6%増）となりました。事業への先行投資が増加したため、営業利益は24,124千円（前年同四半期比36.2%減）となりました。

③ その他

当社グループは、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業を3施設運営しております。職業訓練・就労支援に関するサービス及び児童・生徒の発達支援に関するサービスの提供を行っており、徐々に利用者数が増加しております。その結果、売上高は8,550千円（前年同四半期比120.2%増）、営業損失は7,828千円（前年同四半期：営業損失4,811千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、6,695,151千円（前連結会計年度末は5,860,016千円）となり、835,134千円増加いたしました。現金及び預金、売掛金が増加したことが大きな要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、642,221千円（前連結会計年度末は633,847千円）となり、8,374千円増加いたしました。長期前払費用及び投資その他の資産が増加したことが大きな要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、4,419,335千円（前連結会計年度末は3,593,817千円）となり、825,517千円増加いたしました。買掛金及び短期借入金が増加したことが大きな要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、293,148千円（前連結会計年度末は358,498千円）となり、65,349千円減少いたしました。長期借入金が増加したことが大きな要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ83,340千円増加し、2,624,888千円となりました。自己資本比率は37.8%から34.5%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日に「平成29年12月期 決算短信」にて公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,692	2,005,354
受取手形及び売掛金	3,114,563	3,790,860
電子記録債権	127,159	129,417
商品	682,495	705,937
その他	97,200	75,040
貸倒引当金	△10,094	△11,460
流動資産合計	5,860,016	6,695,151
固定資産		
有形固定資産	57,183	55,829
無形固定資産		
のれん	196,042	186,569
その他	197,564	199,973
無形固定資産合計	393,606	386,542
投資その他の資産		
投資有価証券	39,018	38,228
その他	228,252	246,873
貸倒引当金	△84,213	△85,251
投資その他の資産合計	183,057	199,849
固定資産合計	633,847	642,221
資産合計	6,493,863	7,337,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,831,305	3,438,978
短期借入金	-	350,000
1年内返済予定の長期借入金	334,317	287,423
未払法人税等	132,166	58,702
賞与引当金	70,979	41,196
その他	225,049	243,035
流動負債合計	3,593,817	4,419,335
固定負債		
長期借入金	308,576	243,457
退職給付に係る負債	23,630	23,315
その他	26,291	26,376
固定負債合計	358,498	293,148
負債合計	3,952,315	4,712,483

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,768	307,243
資本剰余金	276,969	277,444
利益剰余金	1,897,543	1,976,762
自己株式	△32,053	△32,053
株主資本合計	2,449,228	2,529,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,160	4,612
その他の包括利益累計額合計	5,160	4,612
新株予約権	87,158	90,879
純資産合計	2,541,548	2,624,888
負債純資産合計	6,493,863	7,337,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	5,950,929	6,015,099
売上原価	5,158,142	5,165,838
売上総利益	792,787	849,260
販売費及び一般管理費	630,453	661,654
営業利益	162,333	187,606
営業外収益		
受取利息	151	129
広告料収入	300	300
受取手数料	182	275
その他	267	841
営業外収益合計	902	1,546
営業外費用		
支払利息	1,319	1,092
営業外費用合計	1,319	1,092
経常利益	161,915	188,060
税金等調整前四半期純利益	161,915	188,060
法人税、住民税及び事業税	43,300	53,026
法人税等調整額	5,406	15,489
法人税等合計	48,707	68,516
四半期純利益	113,208	119,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,208	119,543

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日）
四半期純利益	113,208	119,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	779	△548
その他の包括利益合計	779	△548
四半期包括利益	113,987	118,995
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,987	118,995

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計会計期間における重要な子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社セキュリティアを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ITサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,030,886	1,916,159	5,947,046	3,883	5,950,929	-	5,950,929
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,030,886	1,916,159	5,947,046	3,883	5,950,929	-	5,950,929
セグメント利益又は損失 (△)	129,345	37,800	167,145	△4,811	162,333	-	162,333

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、放課後等デイサービス事業等を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ITサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,925,870	2,080,679	6,006,549	8,550	6,015,099	-	6,015,099
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,925,870	2,080,679	6,006,549	8,550	6,015,099	-	6,015,099
セグメント利益又は損失 (△)	171,310	24,124	195,434	△7,828	187,606	-	187,606

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「情報機器販売事業」としていた報告セグメント名称を「ITサービス事業」に変更しております。

この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。